

2024

7月

患者サポート通信

—ささえちゃん便り—

第 123 号

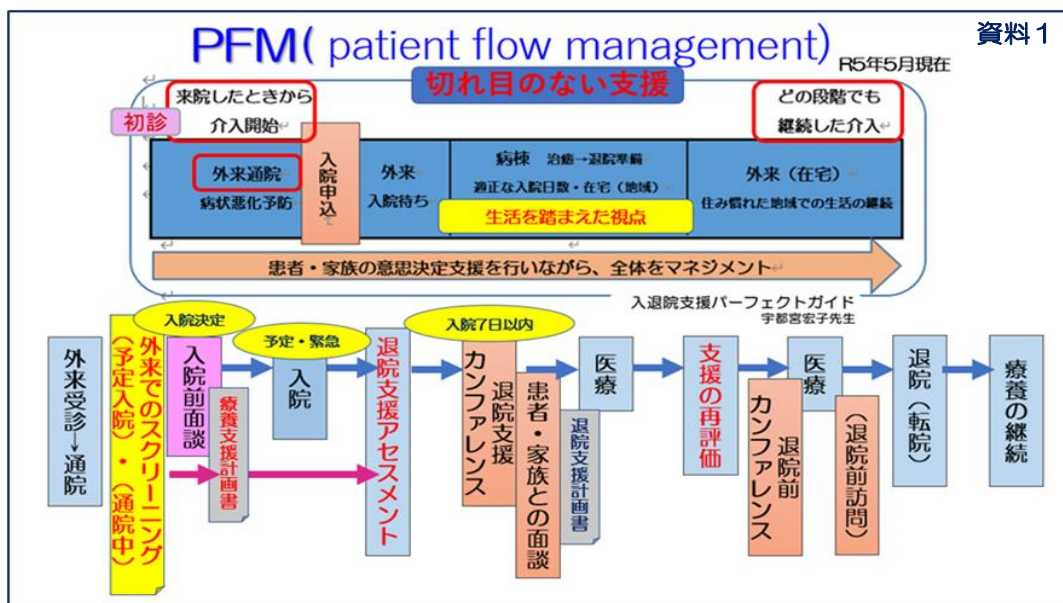


空の青がひとときわ眩しい季節となりました。
今月号は、患者サポートセンター
入退院支援部門をご紹介します。



< 当院の入退院支援の歩み >

当院では、平成 17 年から病病・病診連携部門を設置し、受診予約や転入院の支援を行うと共に、退院後の療養生活に関する支援を行ってきました。開始時は退院支援が中心でありましたが、入退院支援の改善を図るため、東海大学医学部附属病院の PFM システムを学び導入しています。平成 26 年から外来部門での入院前面談を導入し入院前支援を開始しました。さらに、入院前から患者の入退院支援を円滑に行い、統合管理を目的とした PFM 機能を目指し、平成 29 年に病床管理、入院前支援、地域連携部(退院支援、前方連携、後方連携)、医療相談室が「患者サポートセンター」として統合されました。統合によって入退院支援部門が一つになり、入院前面談看護師と退院支援看護師、ソーシャルワーカーとのコミュニケーションが深まり、入院前から支援が必要と予測される患者さんを退院支援担当者へスムーズに連携できるようになりました。当院の PFM の流れを資料1に示します。



< 入院前面談 >

当院の入院前面談は入院前からの患者支援を実施することにより、円滑な入院医療の提供と患者の抱える身体的、社会的、精神的問題を把握し、早期から多職種と連携して適切な療養支援へつなぐことを目的とし実施しています。全診療科(心身医療科を除く)の患者、当該科への初回入院または退院に向けて支援が必要と予測される患者さんを対象とし、一日平均約 30 名に対し実施しています。

面談内容については、資料2に示したように多職種で担当し、患者さんが安心して入院することができ、安全な入院生活につながるよう努めています。また、早期から適切な療養支援につなげるために、入院が決定した際に、外来看護師による「入院前療養支援スクリーニング」を導入しています。外来看護師と連携し、外来からの気づき(スクリーニング)を重視した取り組みが早期の支援につながっています。

資料2

受付事務	看護師	薬剤師	その他
・「入院のご案内」に沿って説明する ・連絡先の確認 ・摂食嚥下調査票の配布 ・高額療養費、限度額認定証の説明	・入院当日の手続きの説明 ・「個室（特別室）希望確認用紙」の説明 ・「入院生活を安全に送っていただくために」の説明と同意 ・入院に関する患者・家族の理解、思いの確認 ・各診療科に応じた入院の説明と保健指導 ・術前オリエンテーション ・術前呼吸訓練の説明と実施 ・禁煙指導と確認 ・「お口の手入れ 入れ歯の手入れ うがいの方法」(全身麻酔、化学療法) ・入院生活の説明 該当する場合はクリニカルパス用紙の説明 ・患者基本情報(身体的・精神的・社会的・経済的背景)の確認、追加情報の取得 ・退院支援アセスメント ・入院前リスク評価 ※支援が必要と予測される場合には「入院サポート療養支援計画書」を作成する→患者・家族への説明と、病棟担当退院支援職員へ申し送り	・服用薬の確認(薬剤アレルギー、サプリメント、健康食品等含む) ・服薬管理状況理解度の確認 ・入院当日の服用薬・お薬手帳持参の説明 ・入院前に休薬指示がある場合は、休薬説明と指導	MSW 栄養士



<退院支援>

患者・家族の主体的な参加のもと、社会資源の調整を行い、退院後も自分らしい生活が送れるように支援することを目的とし実施しています。当院では、入退院支援加算1に基づき、各病棟に「退院支援担当職員」を配置しています。外来看護師による入院前からの療養支援スクリーニングを基に入院前面談を実施し、病棟看護師による入院後 24 時間以内の退院支援アセスメントにつなげています。入院 7 日以内の退院支援カンファレンス、患者・家族との面談、退院支援計画書の作成、退院支援の実践と進めています。地域の関係者の皆様と連携し、患者さんの望む人生を遮断しないこと、患者さんの思いを退院後の地域での生活につないでいくことを大切にしています。

患者さんがいつでも最新最良の医療、継続性のある適切な医療を受けることができ、安心して療養生活を過ごしていただくために、これからも、地域の関係機関との連携を図っていきます。



患者サポートセンター